

令和2年10月28日(水曜日)



(発信者)
野々市市 市民協働課 広報広聴係
電話番号 076-227-6056
FAX 番号 076-227-6259
Mail kyoudou@city.nonoichi.lg.jp
HP <https://www.city.nonoichi.lg.jp>

末松廃寺跡発掘調査現地見学会の開催について

国史跡末松廃寺跡は、昭和41・42年度の発掘調査成果をもとに昭和45年度に整備され、現在、史跡公園として一般に公開されています。平成26年度より史跡公園の再整備事業を実施することを目的に寺院内の発掘調査を行っており、令和2年度は^{こんどう}金堂の北東隅の調査を実施しています。

この度、下記のとおり発掘調査箇所を公開する現地見学会を開催いたします。

記

- 日 時：令和2年11月1日（日） 午前10時から12時（雨天決行）
場 所：末松廃寺跡公園（野々市市末松二丁目地内）
備 考：駐車場に限りがあるので、コミュニティバス のっティなど公共交通機関をご利用下さい。
当日は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で実施します。

《調査成果概要》

令和2年度は金堂の北東隅の調査を実施しました。金堂は本尊を安置する寺院の主要建物で、昭和41・42年に一部の発掘調査が行われています。この昭和期の発掘調査によって、白鳳時代（7世紀後半）に建てられたものと、奈良時代（8世紀）に入り建て直された金堂が存在したことが明らかになりましたが、建物の規模や構造については不明な点があり、今年度、約半世紀ぶりに調査を行いました。

● 大量の瓦を発見

金堂の屋根に^ふ葺かれたと考えられる大量の瓦を発見した。瓦は能美市の^{ゆのや}湯屋町で焼かれたことがわかっており、建物の周りを取り囲むように見つかっている。

● 金堂の地盤改良の跡を発見

調査区南西隅で人の頭ほどの大きさの石を並べた石敷きを発見した。この石敷きは令和元年度の調査でも見つかっていたものであるが、今年度の調査で、この石が建物を建てる前に地面を掘り込み土や石を入れる地盤改良（^{ほりこみじぎょう}掘込地業）の一部であることが明らかになった。

多量の石を丁寧に敷き並べた掘込地業は類例の少ないものであり、寺院を建立する際に高度な技術が使用されていたことが窺われる。

お問い合わせ先

教育文化部 文化課 文化財係 腰地 TEL227-6122